

『マタニティマーク』

～お母さんと赤ちゃんを
みんなのやさしきでサポートしましょう～



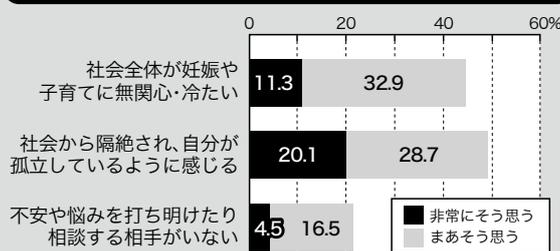
保健医療課 保健師

つかもと まり
塚本 麻里

妊娠中から産後にかけては、赤ちゃんにとっても大切な時期です。しかし、妊婦であるかどうかは外見ではわか

1 マタニティマークとは？

妊娠中または3歳未満の子どもの母親の意識 (平成16年調査)



多くの母親が孤立感の中で子育てを行っている

資料: (財)こども未来財団
「子育て中の母親の外出時等に関するアンケート調査結果」(回答1069人)

多くのお母さんは、妊娠から子どもが3歳になるまでの期間、孤独や負担を感じて子育てを行っていない(平成16年の意識調査から)。これにはさまざまな要因がありますが、子育てにやさしい社会環境を築くために、わたしたち一人一人の理解と協力が必要です。

願います。

- バスや電車内では席を譲る、乗降時に協力する
- 「お手伝いしましょうか?」と声をかける
- 近くで喫煙しない
- 車間距離をあける

『バスや電車で席に座れない』『階段の上り下りが大変』『たばこの煙が気になる』など、妊婦・産婦の外出には苦勞が伴います。もし、町中や職場などでマタニティマークを付けている人や車を見かけたら

2 マタニティマークを見かけたら...

「妊婦が外出する時に身に付けることで、周りの人が気づかいます。示しやすくなります。」



マタニティマーク

妊産婦のみなさんへ

市は、10月から母子健康手帳の交付時にマタニティマークステッカーをお渡ししています。車に貼付するなどしてご活用ください。お持ちでない方は、保健医療課・庄原市保健センター・各支所担当室に用意していただけます。また、厚生労働省ホームページからダウンロードすることもできますので、ぜひ利用してください。

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/03/h0301-1.html>

おなかが大きくないと、なかなか妊婦さんってわかりづらいよね。でも、マタニティマークをつけていれば周りの人が気づきやすいよね。



マタニティマークに関するお問い合わせは、保健医療課健康推進係(0824-73-1255)または各支所保健福祉室・市民生活室まで。